



第二回パネル 会議報告書

平成 27 年 3 月 14 日
10 時～12 時
西岡公園管理事務所

*** 議題 ***

1. 湿原乾燥化対策に向けた 27 年度の取組について
2. 新管理事務所のオープンについて
3. その他

パネルとは？

西岡自然パネルは、平成 12 年に発足した、西岡公園の維持管理について、行政と市民が話し合う場。行政とコミュニケーションを図る場として個人・団体に開かれた話し合いの場である。またパネルの場で解決できない大きな問題は、専門家の意見や調査結果に基づいて、ワークショップなどを実施して方針を決定するような進め方をしている。パネルとは「討論する場」を意味しており、毎年定期的にパネル会議を開催し、様々な議題について話し合いを続けている。

また、平成 19 年には、西岡公園の基本的な考え方を明確にした「西岡公園の管理運営にかかわる提言」を作り、市に承認された。

今回のパネル会議の参加団体（順不同）
西岡自然パネル、森の工作、植物の会、ガイドボランティア、西岡ヤンマ団、西岡南小おやじの会、
豊平区土木部、札幌市公園緑化協会

計 12 名

1. 湿原乾燥化対策にむけた 27 年度の取り組み

①木道見晴台周辺のヤナギの伐採について

木道見晴台の周囲にヤナギが繁茂して、見渡せない状況になっていることから、取水塔が見える程度にヤナギの伐採をしたいと考えている。一度に多くのヤナギを伐採すると、外来種の侵入が考えられるので、今後も段階的にヤナギの手入れをしていきたい。

- ・伐採樹種：ヤナギ
- ・伐採方法：根を残した地際の伐採
- ・伐採範囲：木道見晴台から取水塔が眺められる範囲
- ・伐採時期：ミズバショウ開花前



2014 年 6 月 20 日撮影

＊報告を受けて出された意見（抜粋）

- ・見晴台周辺のヤナギは、眺望の障害になる木として、以前からパネル会議で話し合われてきた。
- ・ヤナギの伐採をする前に、現地にその旨を書いた看板を掲示したら、一般の利用者にも周知できるので良い。
- ・伐採予定地周辺で、水鳥が営巣している事例が過去にあった。野鳥に負担がかからないよう調査してから、計画を進めた方が良い。
- ・今年は暖かくだいぶ雪が解けているので、今やるのは危険ではないか。作業上、伐採は固い雪の時の方が良い。
- ・秋の方が木も休眠期に入るので良い。
- ・秋に作業をすると、今年の観光シーズンの眺望は確保できない。
- ・作業の都合上、積雪なので地際で切れなければ、高く切るしかないが、ヨシに隠れるので、いかにも途中で切ったようには見えないはず。
- ・切った枝は、そのままにしておくと、挿し木のような状態になるので、切った後は速やかに持ち出す方が良い。

＊意見を受けて＊

今回の議論で、今後計画的にヤナギを伐採していくことで、合意を得た。野生動物への負担が少なくなるような計画を立て、湿原の維持管理についての看板を出すなどして、周知を進める。また再度現地の状況を確認して、早ければ春に、遅くても秋にヤナギの伐採を行う予定とする。

②その他の湿原乾燥化対策

前回のパネル会議で、流路を人為的に変える取り組みを話し合ったが、今回は専門家の先生方の参加

がないので、具体的な計画は来年度以降のパネル会議の場で協議する。

③湿原の保全対策への支援の提案

水辺の環境保全活動を支援している北海道コカコーラボトリング(以下コカコーラ)から、西岡公園の湿原の保全対策に対し、援助の申し出があった。コカコーラは、e-水プロジェクト等で環境保全の取り組みをしており、今年度は西岡公園も、北大総合博物館と連携した CISE ネットワークで、e-水プロジェクトから助成をいただき、ホタルのトランクキットの教材を作成した。コカコーラからは、管理事務所内に自動販売機の設置し、売上げの一部を湿原の保全に役立てる提案をしてもらった。コカコーラでは、沖縄でヤンバルクイナの保護活動に同様の取り組みを行っているそうである。



↑ 沖縄のヤンバルクイナ基金の自販機

しかし、西岡公園は自然を大切にする風致公園として、電気を使い、ゴミを増やす自動販売機の設置には反対する意見があったことから、これまで設置が見送られてきた経緯がある。そのため、これらの懸念事項に対する対策と自動販売機を設置することによるメリットをコカコーラから提示していただいた。

【懸念事項への対策】

＊ゴミが増える

→ポイ捨て防止の為にキャップ付きの飲料水を選択する。園内のゴミは、毎回の巡回時に回収する。ゴミ箱の空きペットボトルはコカコーラが回収し、分別をしてリサイクルをする。

* 赤い自販機は自然に馴染まない

→自然に馴染むラッピングにする。「売上げの一部を西岡公園の湿原の保全に役立てます」と明記し、PRする。

【設置のメリット】

- * 利用者が木道や湿原の保全に協力出来る。
- * 継続的に資金が提供される。
- * 災害時に避難者に無料で飲料が提供される。

* 報告を受けて出された意見（抜粋）

・自動販売機の設置についても、以前からパネル会議で話し合われてきた。自然保護や生物多様性を目的とする公園に、自販機は合わないという意見もあり、ゴミの問題もある。一方利用者としても飲み物が手軽に手に入らない問題もあり、難しい案件だ。湿原保全基金という目的の自販機で、ただ事業者の金儲けや利便性ではなく、自然保護に役立つことを徹底させた上で自販機を置くのは、現在のエコ思想が進んだ状況であれば、賛成する。

・管理事務所内に置くのであれば、電気の無駄遣いにならず、いたずらもされないのよい。

・「カワセミ基金」など名前を付けたらよい。カワセミがいつまでも美しい姿を見せてくれるような作業に使うと明記したら良い。カワセミの為なら他で買わずにここで買う人も結構いると思う。

・自販機がなくても、園内を歩いていたらゴミを投げる人は投げる。自販機があるからゴミが増えるというわけではない。モラルの問題。

・西岡公園は環境教育の発信地なので、太陽光パネルと繋がった自販機や、風車から電力をトル自販機など、自然エネルギーを使ったものなら、展示の意味もあるしこの場所にふさわしい。

・今まで環境に対してがんばったのだから、自販機を置くと自然から遠のくような雰囲気になるように思う。

・買った人に自然保護の理解を少しでもしてもらえるものになるなら、賛成。

* 意見を受けて *

今回の議論で、湿原の保全に役立てるために、管理事務所内に自販機を設置することで、合意を得た。自販機には湿原の問題やその対策を明記し、普及啓発に繋がるようなデザインにする。また、自然エネルギーを取り入れた形ができるかコカコーラに相談する。

2. 新管理事務所のオープン

4月1日から14日まで管理事務所を休館して引越作業を行い、15日にオープンさせる予定である。それに伴い、2つのオープニング企画を考えている。

①西岡写真展

期間：4月15日(水)～5月31日(日)

内容：西岡公園の自然が楽しめるような野鳥や植物、トンボなどの生き物の写真や風景写真を展示する。

②オープニングフェスタ（案）

日時：5月中旬～下旬のいずれかの週末10時～13時

目的：新管理事務所のオープンを祝い、日頃管理事務所を利用する人々が集う場を設ける

協力団体：西岡自然パネル、西岡南小学校おやじの会、西岡公園ボランティア（森の工作・植物の会・マダム・遊木森森・ニハルクラブ・ガイドボランティア）ほか

➤ ステージ

市民団体や子ども達の調査隊「西岡ヤンマ団」「にしおか魚組」の発表

➤ フリータイム(案)

- ・無料クラフト体験
- ・クイズラリー
- ・販売コーナー
- ・ヤンマ団&魚組展示解説
- ・ボランティア紹介コーナー
- ・野外でゲーム
- ・ガイドウォーク

*** 報告を受けて出された意見（抜粋）**

- ・西岡公園の生き物が見られるような端末を管理事務所に置いたらどうか。
- ・利用者みんなで祝いする、新しくなった施設を使った最初のイベントという位の気持ちでやって欲しい。あまり大げさにするとオーバーユースの問題があるので、近所の人に楽しんでもらう規模を希望する。
- ・実行委員会を立ち上げて、企画から協力団体と共に作っていくものが良い。
- ・オープン日（15 日）に何もやらないのは寂しい。特別宣伝しなくても、入って来る人は公園に良く来る人だと思うので、サプライズがあっても良い。
- ・毎年開催しているボランティアの親睦会を、オープン日の夕方に企画したらどうか。

して、パブリックコメントを提出することとなった。

*** 意見を受けて ***

オープン日（15 日）にはサプライズを検討する。オープニングフェスタは、様々な団体と指定管理者で実行委員会をたちあげて、近所の方が楽しむ規模で開催できるように準備を進める。

3. その他

①来年度の人員配置について

今年度までは、西岡公園・西岡中央公園・吉田川公園の管理をしていたが、来年度からは西岡公園と西岡中央公園のみの管理になる。またスタッフの退職や異動があり、4 月からはスタッフが 2 名、入れ替わる。

②（仮称）札幌市博物館基本計画（案）について

3 月 17 日まで、（仮称）札幌市博物館基本計画（案）についてのパブリックコメントを募集している。会議参加者より、博物館と西岡公園の連携を提案したいと申し出があった。パネル会議で協議し、個人の意見と